

# 文教産業委員会

## 付託議案の審査

12月定例会において文教産業委員会には3件の議案が付託され、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。議案と主な質疑は次のとおりです。

◆議第101号  
指定管理者の指定について（高山市荒城農業体験交流館の指定管理者を指定しようとするもの）

論点①施設の利用状況

・平成26年に農業体験を行った小学生は65名である。里山の暮らし伝承保存事業講座は年間50回行っている。  
・農業体験は、農家など地域の方にボランティアで来ていただいている。

◆議第102号  
国府小学校北舎大規模改修工事（建築）  
請負契約の変更について

論点②指定管理者のこれまでの評価と今後の運営に対する期待

・当団体は専門的な知識を有し、組織力もあり、農家とも密接な関係を築いている。今後不安定した管理ができるものと考えている。  
・設置目的である「子どもたちへの食育」、「地域の伝統文化の伝承」の達成のために、更にイベント等の参加者は増えるものと期待している。



◆議第103号  
松倉中学校校舎大規模改修工事（建築）  
請負契約の変更について（国府小学校北舎と松倉中学校校舎の大規模改修工事の契約金額を増額変更しようとするもの）

※一括議題として審査しました。

論点①設計業務や変更契約に対する市の考え方

・設計段階では目視等による調査を行ったが、外壁等の著しい劣化はわからなかった。  
・アスベストが含まれていたのは目視できない部分のシーリング材であり、アスベストを含むことを予測するのは困難であった。  
・アスベストの使用は建設当時の設計書にも記載がなく、施工中に疑わしいものが発見さ

れ、成分検査を行って初めて判明した。  
・今回のシーリング材に含まれていたアスベストは、非飛散性で、一般の建築材などにも含まれ、解体時などを除けば、日常は特別な管理を必要としないと考えられており、解体時は適切に処分した。

◆議第104号  
国からの補助金への影響  
当初から上限を超えているため変更はない。

論点②補助金への影響

・国からの補助金は、当初から上限を超えているため変更はない。



## 分野別市民意見交換会の報告

【11月26日】  
高山市農業委員会  
：25名

◎テーマ  
これからの農業振興について

●主な意見  
・子どもの頃から飛騨の食材を食べてもらう

・TPP対策について、素早い対応を。



農業委員会委員と意見交換

ことで、その子が市外へ出ても地元への発信につながり全国への発信につながる。給食に地元産食材を使える体制を。  
・兼業農家が減り、大きな農家に農地が集約されてきているが管理が難しい。農業用施設の早急な整備を。  
・有害鳥獣捕獲隊員が高齢化しているため若い隊員の育成を。また射撃場の早期建設を。  
・飛騨牛のPRにより流通が確保されても頭数がいなければ意味がない。頭数を増やすために初期投資を少なく新規就農できる施策を。

【12月15日】

飛騨春慶連合協同組合  
：5名

◎テーマ  
飛騨春慶連合協同組合の土地、建物売却に関する要望書（陳情第11号）

※9月25日に市議会へ提出された要望書について、代表の方々と意見交換を行いました。飛騨春慶連合協同組合の土地と建物を市へ売却したいという要望に至った組合の状況等を聞かせていただきました。文教産業委員会として、今後、対応について検討してまいります。



飛騨春慶連合協同組合と意見交換